

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1325 2025/03/13 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)



STOP 「主任教諭」

～新たな職の導入に反対します～

2024年8月、国の中央教育審議会が「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」をまとめた。

残業し放題の制度は温存

それに添う形で、今通常国会において、2月7日文科省は教員給与上乘せ分を段階的に10%へ引き上げる改正案を閣議決定し制度改革が行われる見通しとなっています。

国の中央教育審議会は、2024年8月の提言において「処遇改善」を掲げ、教師に支払う月給の上乗せ分を4%から10%以上に引き上げる方針を掲げました。現在支払われている「4%」とは月8時間分の残業代に相当し、これから支払うという「10%」とは月20時間分の残業代に相当します。

しかし、2022年度に行われた国の調査では(この調査に特別支援学校は除外)、小学校教員の授業期間中の月平均残業時間は約82時間、中学校は約100時間、高校は約81時間で(持ち帰り仕事を含む)、この実残業時間からは本来であれば40%ほどを上乗せして支払わなければなりません。40%支払うべきところを、10%程度に切り下げる。そして、それ以上の残業がどれだけ発生しようが、追加の残業代は一切認めないというものです。

先生を真っ二つに分断 ～右上の表を参照ください～

加えて、もう一つの問題なのが、「新たな職」「新たな級(給料表)」を作るというものです。これは、東京都において2009年度に「主任教諭」制度として先行導入されたものであり、そのような制度を全国展開しようという提案です。東京都ではそれまで全体の85%を占めていた「教諭職」を、上位の「主任教諭」と下位の「教諭」に分化し、給料に差をつけることとしました(図参照)。その額は、月に1~3万円程度です(給料は手当や退職金にもはね返るため、主任教諭と教諭の生涯賃金の差は1,800万円以上という試算もあります)。問題は、東京都でこの制度が導入された際に、主任教諭となる教師の給料をただ引き上げたのではなく、教諭にとどまる教師の給料を引き下げたということです。この制度を全国展開するにあたっては、「処遇改善」を行うと言いながら、月給上乘せ分(「10%以上」)の財源を確保するためにも、教諭の基本給を引き下げてしまう。自治体によっては、そのような運用が行われるのではないかと反対する運動が全国的広がっています。

もうこれは、次の参議院選挙で自公(維新)政権を過半数割れに追い込むしかありません。

六文銭

▼十分に愛された子どもは、自己愛や持たざる愛は、やがて他者への愛に変わる。十分に愛されなかつた子どもは、自尊心を持つことにはあっても、それは時として、他者を排除することになる▼ここ数か月、心を痛めてきた事象の原因、あるいは謎は、この「エミール」(JJルソー)の記述によって、納得できるかもしれない▼自尊心と自分を愛する心、「私って、満更でもない。結構、いけるかも」は、確かに、似ていても非なるものです。他人に暴言や暴力を振るっても、翌日には平然と構内を闊歩出来る人間がいることは、確かな経験として確認できます。同時に、他者への攻撃的な発言や行為に直面すると、自動的にブレーキがかかる自分があります▼愛とは、他者との関係でこのような自発的で自動的な優しさや配慮が生じることをさしていると思えます▼どのような大人をその社会が育てているのか、によってその社会(村であれ町であれ、国であれ)の在り方を決定的に決めてしまうのですよ▼金の窓から、常に物事を見る習慣がついてしまうと、「愛」とは乖離してしまいます。